

小中学校のあり方意見交換会 意見・アンケート結果  
(地域住民向け・日高会場)

- 開催日 2020年10月23日(金) 19:00~20:45
- 会場 日高コミュニティセンター 多目的ホール
- 出席者 地域住民等参加者 55名  
教育委員会事務局 8名
- 意見交換(要旨)

意見・質問	回 答
<p>《適正規模・適正配置》</p> <p>幼児教育保育の説明会で、認定こども園については市内全域を通園範囲とするとの説明であった。その時に質問で、小学校についても同じようなお考えかと聞いたところ、教育長から、「中学校の校区の範囲で考えている。来月の小中学校の意見交換会で説明する」とお話があった。その件はどうなっているか。</p>	<p>幼保の説明会では、幼稚園が廃止になることで校区を廃止するというお話をさせていただいている。認定こども園では校区を決めていないので、どこの園でも行けるようになるということである。</p> <p>小学校の校区については、現在の中学校校区を越えるような統合はないという説明であったと思う。小学校の校区を撤廃するというのではない。</p>
<p>「小学校もいろんな小学校に行けるようになるのか」という質問に対して、「中学校区の範囲で考えている」という回答と捉えていた。</p> <p>一つの学校で一つの校区ということではなく、複数の学校で一つの校区にして、何らかの制限を加えた上である程度選べるようにすることは、審議会では議論されていないのか。</p>	<p>審議会としては、校区を越えて、2つの学校のどちらに行ってもいいというような提案ではない。校区を定めることは法律で決まっている。今回の再編案でも校区を定めて校区の学校に行っていただくことを基本に考えている。</p>
<p>《学校再編》</p> <p>説明を聞いて、学校教育の上で、極度の少人数においては、いろいろな問題があるということはよく分かりましたし、以前から承知していた。</p> <p>しかし、地域としては、特に八代地区の場合、八代の谷に1つしかない学校である。学校は、少子化対策の上での重要なインフラであり、それをなくすことは、その地域には子育て世代が住むな</p>	<p>地域を愛するという含め、とても重大なお話ということで身につまされる思いでお話を聞かせていただいた。</p> <p>学校がなくなれば地域が寂れる、という話もお聞きするし、逆に、学校には、子どもの同級生がいらないということで、子どものことを心配して、地区から出てしまうという事例もあると聞いている。実際に要望書を提出された地区ではそ</p>

<p>と、ここは教育的に子育てに不向きだから住むなど言っているようなものだと思う。もしも小学校がなくなった場合、子育て世代の人たちはもう住まないと思っている。つまり、その地区では新しい命が発生しない、そして、60年後、80年後、100年後には廃村になると思う。</p> <p>先ほどから数合わせではないと言われるが、どう見ても数合わせとしか思えない。決定事項ではないと書かれているが、工程表、計画表まで書かれていて、ほぼ決定事項のように書かれている。</p> <p>大きいところに統合するという考え方ではなく、小規模のところの人数を増やす、逆の方向の考え方も是非とも検討していただきたい。私が知る限りでは、里親制度や山村留学や、先ほどないと言われたが校区の再編、小規模特認校制度などがある。資料で、同様の質問の回答として、小規模特認校は、1人か2人しか増えてなくてあまり効果がないと書かれているが、小学校の隣にある八代保育園は現在園児が59名で、そのうち50名が八代地区以外の園児である。小学校と保育園で違うかもしれないが、現実として80%程度の園児が他地区から来られている保育園がある。そして、保育園に来られている他地区の方の中には、このまま八代小学校に入れたらいいねと言われている保護者もたくさんいると聞いている。ぜひとも大きい方に小さい方を引っ付けるといった考え方だけでなく、小さい方の小学校の人数を増やす方法も検討された上での取組をお願いしたい。</p>	<p>のような危機感をもって決断された。</p> <p>今お聞かせいただいたご意見は審議会に持ち帰り、検討させていただきたい。</p>
<p><b>《学校再編》</b></p> <p>学校の再編は私も経験した。西気と清滝が統合したが、我々の世代にとって、学校は地域シンボルであるし、これから</p>	<p>地域の方と保護者の方では、考え方の違いがあると思っている。保護者向けの意見交換会でも、保護者の意見を地域に</p>

もずっと残して欲しいと思う。学校からは子どもたちの声が聞こえてきてほしい。保護者の子どもではあるが、地域の子どもであり、地区全体で子育てをするものだと思う。

人数が減ってくるので、統合は流れだろうと思う。しかし、統合する場合は、保護者の意見だけではなく、地域の意見も、十分に聞いて欲しい。

我々の世代と、今の保護者の世代では、意見が全然違う。学校は地元になくても、子どもの人数が揃って学校生活を送れたらいいのではないかというような話である。

地域と保護者と学校で十分に話をし、結論を導いていけたらと思う。

#### 《その他》

教育委員会では子どもが少ないから学校の統合を検討されているが、その後、学校がなくなった場合、その施設を地域でどう活用していくかが課題である。あとは、子どもが減るばかりではなく、皆さんが移住してもらえるような方法も考えて、適正規模・配置、学校の再編を説明していただければありがたい。

十分伝えて欲しい、市が仲介して伝えて欲しいという要望もいただいている。

本日については、地域の方を対象とした会であり、まずは、皆さんの率直な意見をお聞かせいただきたい。

今後は、すり合わせやお互いの意見の違いを認識していただきながら、話をしていく必要があると思う。

跡地利用については、活用方法が決まらなると再編ができないとなると、子どもたちがどんどん大きくなっていく、少子化が進んでいくということになることから、跡地利用については、別に協議をさせていただきたいと思っている。今後、地域デザイン懇談会を立ち上げ、その地域にどんな施設が必要なのかなどを検討することとなっている。学校についてもそういったところで検討させていただきたいと考えている。

地域活性化や地域づくり、少子化対策についてもお話いただいた。市で進めているのは、特に高校を卒業して大学などで都会に出ていった若者が、男性は半分くらい帰ってくるが、女性が帰ってくる率が非常に低いということに懸念を持っている。女性にとっても魅力的なまちとして、地域でも仕事でも、女性が活躍できる場所づくりが必要であると、市ではジェンダーギャップを解消する施策

	<p>を進めている。地域の皆さんも女性の方が活躍できる環境づくりについて、市と一緒に進め、少しでも少子化の流れが緩くなればと考えている。</p>
<p><b>《学校再編》</b></p> <p>このままいけば豊岡市がなくなるのではないか、という話に思えた。静修校区も人数が少ない状態が長く続いているが、何とかしようということで市営住宅を誘致していただいて、子どものいる家庭に入っただいて、今の人数を確保している。校区には3区しかないが、各区で家庭を増やしていこうと取り組んでいるが、現状は定住される方が少なく、今の状態になっている。</p> <p>豊岡市の状況で行くと、数年前には病院を統廃合するという話があった。今度は学校。どんどん縮小するばかりである。豊岡市では、教育の立場だけで考えれば、確かに子どもは少なくて教育が十分ではないということがあるかもしれないが、その話をする前に、市として、この現状を何とかしないといけないということをもっと前面に出していかないといけないのではないか。</p> <p>静修小学校は、今年4月の新入生が2名になっているが、昨年12月時点では3名入ってくる予定だったが、いろいろな都合で、2名の方が日高小に行かれた。事情があるのでやむを得ないと思うが、居住地は静修校区の中にある。</p> <p>静修校区の人が少なくなってくる中で、統廃合を考える時が来るかもわからないが、最速で2年、3年もかかるのであれば、日高や三方に行きたいという方があった場合、そういう希望があれば、行かせたらいいということか。区としてはやむを得ないということで了解しな</p>	<p>人口減少対策、地方創生、少子化のことについてだが、豊岡では、若い世代、10代で転出されて、20代で帰ってくるのが、男性が約半分、女性は約4分の1ということで、若い世代に絞った戦略を作り、取り組んでいるところである。ジェンダーギャップの解消ということで、女性にも魅力あるまちづくりとして、6つの柱の戦略を進めています。</p> <p>今、豊岡の人口が82,000人くらいだが、その人口は今後増えることはないと言われている。人口減少の専門家は、2060年には38,000人になると推計しているが、豊岡の総合戦略については、その人口を7,000人、8,000人ほど上回るような取組をやろうとしている。また、人口は減っても、地域の中で活力が見いだせるような、そういったものを目指している。</p> <p>今年は、コロナの関係で、密が避けられる田舎の方が良いということもあって、移住の問い合わせが例年の4倍以上に増えてきているという状況である。地域おこし協力隊の方の応募も、例年は17人くらいだったのが、今年は過去最高で56人の申し込みがあった。</p> <p>人口減少というのは難しい課題だが、この機会にそういう方々に対するPR、地方創生の取組によって、対応していきたいというところである。</p> <p>違う学校区にという話があったが、現在でも自分が住んでいる校区とは違う学校に行く校区外就学の制度はある。た</p>

<p>いといけないのか、それをぜひ聞かせてもらいたい。先ほどにも発言があったように、校区の再編なども合わせて考えてもいいのではないか。この4月に2名になるというのは、ここ何十年なかったが、そのような中で、保護者も心配される方がおられて、これからどうなっていくのか、自分たちの意見を聞いて欲しいという話があり、小学校育成会と校区協議会の育成会議があり、区長やPTAやコミュニティの人が入って、将来を考える会みたいなものを作って、意見を聞いていこうと話を始めたばかりである。何かやって欲しい要望があれば言っていないといけないだろうし、ダメなものはダメと言わないといけない。</p> <p>昨年初めて突然懇談会があって、今日、初めて保護者や地域の方は説明を聞かされて、予定表を見ると4月には答申が出て、最優先のところはすぐに統合の話を進めますとあるが、1年でぽっと出てきて、ぽっと決めて、はい出来上がりです、と言われても理解できない。その辺の考え方は、もう少しヒアリングを設けないのか、ということ聞かせて欲しい。</p>	<p>だ、校区外就学をするためには一定の要件を満たす必要がある。したがって、子どもが行く学校が、人数が少ないからというだけの理由では、校区外就学は認めない。また、今後も、自由に学校を選択できるような制度にすることは考えていない。</p> <p>スケジュールの件については、資料にあるように、今回、意見交換会をさせていただいており、答申が出るのが来年2月で、来年4月から答申の説明会ということで入らせていただく。答申というのは、審議会から、市としてこうあるべきではないかという意見をいただくというものである。その意見をもって、こういう意見が出ているがどうかという説明会を4月以降にさせていただき、いただいた意見を9月まで検討し、今度は計画案という形で作成し、また説明をさせていただく。これから2回以上は中身を見直しする機会があるので、市としては地域の皆さんに何回か説明させていただいて、丁寧に進めていきたいと考えている。</p>
<p>《学校再編》</p> <p>今後、人が減る、減る、ばかりの案であるが、静修校区は、今現在自動車道が開通しようとしている。蘇武トンネルと自動車道が開通して、交通網が大変便利になってきたということがある。</p> <p>私は10年前から、この地域は住宅地がいいな、この地域は農地がいいな、この地域は子どもたちと戯れながら散歩でもしたらいいな、そんなことを地図の中に落としつけてきており、それをもって地域づくりをしながら学校づくりをしていくというような案を話してきた。どん</p>	<p>いろいろな話を聞かせていただいたなか、都市計画との整合性も図れということもあった。また、静修は昔から学校に地域の方で力を入れられていることは十分お聞きしている。そういった部分も踏まえ、持ち帰らせていただき、市全体ということも含めて協議をさせていただく。</p>

詰まりの地域と違い、ここは但馬の中心である。日高町は但馬の中心。日高町の中心が静修である。交通が大変便利な状況になっている。災害もない。水はつかない。そういったところなのに、なぜこういった話になるのか。都市計画を持ちながら、その中で少子化も歯止めをしていくということは十分可能であり、提案もさせてもらう。私は今の地域を救っていきたいと考えている。

静修という名前は、日本に今は一つしかない。この静修という言葉は、地域の名前をとった学校名ではなく、教育方針・子育ての人があるべき姿を、その時に教えないといけないことの意味が含まれている。静かに学ぶ。学習は、物事を知るだけでなく、人間そのものの根底から見直そうという精神性がある。そういった名前は、私は大事にしたい。こんな学校はない。そこでもって、豊岡市の教育機関がある。例えば、人間顔かたちが皆さん違うように、精神性、考え方も自由、成長段階もみんな違う。その方々が公平というか、生涯幸せに暮らせるように自分からその匂いを出していく、発声できるような人、こういう人は人生うまくいく。そういったところも含めた、多面的価値観、人間性、嫉妬している人間づくりではなく、考えられる人づくりの教育を提案したいと思っている。その中での多面的な、もっと視野を広く持っていて、静修を見て欲しい。それでもって地域のみみんな考えていこうと。

現在私の地区では、先ほど言われたが、校区から出られた方がいる。昔はそうではなかった。久斗も静修校区だった。それが逆流した。減って当たり前だ。そういうことを、プラスマイナスで言う

<p>となると、真剣に考えてみたら、増やすことができる。あんな便利の良いところはない。保育園はすぐそこ。なので、あの国道沿いで保育園・小学校が、最低、歩道をつけて欲しいと要望書を毎年出しているがなかなかつけてもらえない。そういうところを協議していただきたい。それをしてからこの話を出して欲しい。それでもだめなら、今さっき言ったように、5年、10年先、3年でも、逆流する可能性がある。今、構地区では住宅がどんどん建っている。行ってしまう。このままの状態です。ただし、生まれる数が違うので、この言われた話は減るばかりで、30年後には各村がなくなってしまう。三方地域の村も。この説明そのものがちょっと足りないのではとと思っている。</p>	
<p><b>《学校再編》</b></p> <p>統廃合については、基本的には安易な統廃合には反対である。特に小学校に関しては、いろいろな工夫を今もされていると思うが、少人数のメリットをできるだけ活かす方向で、できるだけ存続をしていただきたい。</p> <p>中学校に関しては、部活動のことなどいろいろあるが、高校では部員が少ないところは合同チームを組んでいるところもあるし、外で、クラブチームでやる子も増えている。だんだんそういうことで時代は変わってくると思う。中学校はある程度規模がないといけないと思うが、小学校はその児童と保護者のためだけのものではないと思う。もちろん児童が一番だが、地域のものであるので、小学校がなくなると、絶対にその地区は人口がどんどん減る。それは日本中どこを見ても明らかである。たとえば、旧温泉町は小学校が2校しかない。10数</p>	<p>ご意見は真摯に受け止めさせていただきたい。また、納得というところで、いろんな機会を通じて対話をしながら進めさせていただけたらと思う。</p>

年前にたくさん廃校になった。そうしたら、旧温泉町は30くらい集落があって、ほぼ半分の14集落が限界集落になっている。それに対して、旧浜坂町の方は、同じくらい集落があるが、まだ小学校は4つある。限界集落はまだ3つ。かたや14、かたや3。そのように、まず間違いなく、なくなっていく。統廃合しても、今いる人は、小学生の子どもがおられる方はそこに住まれるだろう。それよりも後の世代の人は、帰ってくる人は極めて減ると思う。Uターン者はほぼいないと思う。20年30年後は、今計画に出ているようなところが統廃合の対象だが、さらにその先になると、もっと統廃合の回数が増える。つまりは豊岡市で小学校一つとかになりかねない。どこかで歯止めをかける、小規模校のメリットをもうちょっと伸ばすような、いろんなことを考えてもらい、複式学級を避けるとか、今もされていると思うがいろんな行事も合同でするとか、いろんなことを考えてやっていただきたいと思う。

もう一つ、こういう統廃合について、いろんな意見を聞く場を設けていただいて、公平な、いろんな多くの人々が納得できる形で進めていただきたいと思う。統廃合について、地域の人々が後から聞いたという話や、別の例では、地域の人々が8割が反対の署名をしたのに結局進められてしまったとか、そういうことになると地域の中にしこりが残るので、そういうことがないように、丁寧に進めて行っていただきたいと思う。

#### 《学校再編》

スケジュールでは、答申が出た後も2度程度は地区の人にも説明があるとのことだったが、具体的に、審議会の答申が出た後、計画案はすぐできると思う。

答申については、現在、市の第三者機関として意見をいただくものである。いただいた答申は、そのまま受けとり、地域の方に説明をさせていただく。答申と

<p>ということは、その時点で例えば静修、八代は統合ですという判断が出てくる可能性がある。ならば、審議会の答申が出るまでに、地区の者としては、これは認めません、いややります、という返事をしないとイケないと思うが、そのあたりの日程、時間も設けられるのか。もし仮に統合するなら統合するで、いつまでにこうしてくださいということがあるのかどうか、説明していただきたい。</p>	<p>計画はイコールということではなく、答申はこう出たけれども、地域の皆さんはどうですかと、いただいた意見を踏まえて、計画案を作成する。</p> <p>答申後、あらためてご意見をいただく機会を設けたいので、その際にお話をいただけたらと思う。</p>
<p>《その他》</p> <p>学校再編を目指しているとしか思えない、そういう市教委の話であった。それだけではなく、アンケートにも書かせていただいたが、何とか教育活動の工夫をしながら、デメリットを減らしていくという方向を、車の両輪のようにして考えていただきたい。例えばオンラインの授業もあるだろうし、隣接校区との交流活動もあるだろうし。様々な工夫を、教育委員会は教育の専門家でしょうから、検討していただきたい。</p>	<p>ICTについては、一人1台端末ということで進めている。学校交流も小規模校同士で小小連携という取組を数年前からさせていただいている。ただ、小小連携といっても、授業の進捗状況が学校によって全然違うし、お互いに移動の距離もあるので、年に数回しか実際できない。これ以上すると、カリキュラムをこなすことができないということで、実際に取組はしていて一定の効果は上がっているとは思いますが、これ以上回数を増やすのは難しい状況である。小小連携を体験した子どもたちは、大勢の中で知らない友達できてよかったとか、人数が少ないと例えばドッチボールや野球、ソフトボールなどのスポーツができないので、初めてそういったスポーツができて楽しかった、という感想も聞いている。子どもたちにとってより良い環境、友達同士で遊べる環境、あるいはいろんな人たちがいる、いろんな意見が聞ける環境ということとなると、統合も選択肢に入れないとイケないのではということで検討を進めさせていただいている。こういったご意見を聞く場を設け、いろんな意見を吸い上げながら検討させていただく。統合も含めての検討という形で考えている。</p>

	<p>あくまでも現時点では素案の素案ということで、ご意見をいただきながら審議につなげさせていただきたい。</p>
<p>《その他》</p> <p>統廃合の話が着々と進んでいるような感じで危惧している。地域の方は、その地域の中に小学校を残して欲しいというのはどの地区も同じ思いだと思う。もっと開かれた教育スタイルで、デメリットをなくして行って、小規模校をどうしたら残していけるかということ、私たちがこうしたら変えて行くことができるということを示していただきたいと思う。</p> <p>小規模校でもっと小さいところを考えると、分校というものがある。分校スタイルでも、今の小規模校でもそうだが、成績が悪いかというところ悪くない。確かに何人かいないとできないスポーツなどはあると思うが、大きい学校との交流も可能であるだろうし、小規模校に行きたいという大規模校の保護者・子どももいると思う。小規模校の存在もそれなりに意義があると思う。小規模校で、こんなに少なかったら大きい方に行こうと言って行かれる方は行ったらいいと思うし、逆に大規模校から小規模校に行きたいと言っている方が行けるような、自由な、開かれた小学校、そういうことができないかという思いでいる。ぜひ検討していただきたい。</p>	<p>ご意見としてお伺いさせていただく。</p>

## ■アンケートでの意見

(適正規模・適正配置や再編の枠組みについて)

- 再編で環境が整うのであれば、同学年は多い方が良いのではないか。その方がいろいろな考え方に触れる機会が増える。
- 子どもの学び合いについては、ある程度の人数が必要と考えます。多様な考え、多面的なものの見方が、学びの質に深くかかわると思います。少人数のメリットはありますが、複式等ではデメリットが多いのではないのでしょうか。
- 複式学級や同級生が少ないことによるデメリットが多いと感じる。教育環境はどこに住んでいてもある程度は環境を整える必要があると考える。
- 何年も前から複式学級になる学年もあり、不安があったが、いよいよその時が来た感がある。子どもの学びを考えると、一定の児童数は必要と考える。
- 子どもの人数が少ないと、勉強の面では良いと思うが、中学に行って委縮してしまうのではないか。
- 子ども同士で触れ合う機会や競争する場がない環境はまずい。学校がないと地域が寂れる不安より、教育環境の充実を優先すべき。市の方針を基本的に支持する。
- 少人数学級を否定はしませんが、ある程度適正な子どもの数が必要。
- ある程度の規模で子どもたちが学び合い、競争し合い、励まし合い、協力し合って、学習や活動ができる学校規模が望まれる。地域の意見は意見として聞くべきだが、子どもたちの教育環境の充実を基本に考えるべきである。
- 案どおりに早く実施すべき。
- 複式学級の映像を見ても地区は「子どものため」という言葉はなく、「地区が、地区が、」と人を育てる気が全くない。子どものために統合をして欲しい。
- 学校の統合は子どもたちにとって必要だと思いました。
- 静修小学校の統合先としては、日高小学校が妥当だと思います。
- 現在は短期的な見通しで統合化に進んでいるが、恐らくその繰り返しになるのは目に見えている。小中一貫教育で日高地域には小学校1中学校1にするべきであると思う。
- 中学校区の中で移動（通学）ができるようにして欲しい。小さいところから大きいところに統合ではなく、大きいところから小さいところに行けるようにし

て欲しい。数合わせになっている。

- 中学校の再編はある程度仕方ないと思います。小学校の統廃合は極力避けるべきだと思います。
- 小学校と中学校では適正規模の意味が違うと思います。中学校（中学生）については、多様な教育活動を保障する観点から再編はやむを得ない部分があります。ただし、小学校（小学生）については、「再編ありき」ではなく、児童数を確保したり、隣接校区の学校との交流活動やオンライン授業などの教育活動の展開によって、安易に廃校にするのはやめて欲しい。
- 小規模特認校を豊岡市でも挑戦して欲しい。

#### （複式学級）

- （複式学級は、）多様な意見に接する機会が少ない。将来の人間形成にも影響する。
- 複式学級の基準を市独自でも下げて欲しい。行事等の連携、オンライン授業の増等で工夫を。昔（昭和 20～30 年代初め）、清滝小と西気小は合同で運動会をしていました。
- 複式学級のビデオはそのデメリットばかりを強調した授業風景でした。補助教員が入っているなら、教室を別にすべきです。小規模校のデメリットは理解できますが、それをできるだけ減らすような教育活動の工夫をまず検討すべきです。
- （複式学級は、）デメリットが多いと感じましたが、メリットを伸ばすようにもっと考えられないでしょうか。
- 複式が学びの環境がよくないという偏った説明、ビデオはやめてほしい。複式でも少人数でも工夫次第で学びは深まり、教育環境はいいものになると思う。

#### （その他）

- 地域住民としては、小学校を存続させて欲しいと思うが、子どもが減少し、複式学級になると、子ども自身、保護者は小学校（中学校）の統合はやむを得ないと思われるのではないか。
- 再編はやむを得ないと思いますが、地域の特性を生かし、地域と一緒に取り組んで欲しい（対話）。
- 校区が広範囲になった場合、登下校の市の支援に期待します。

- 安全な通学環境を充実するため、公の負担で通学手段を確保する方策を考えるべき。
- 「そこに住んでいると、小規模校に通わなければならない」この方が子育て世代は出ていくと思います。「ここに住んでいてもある程度の人数の学校に通える」こちらの方が子育て世代もそこで子育てしようと思うのではないかと思います。
- 地域を越えた通学を進めれば、小規模校からの流出に加速がついてしまうと思う。
- 大きいところに行って不登校にならないでしょうか？不登校になった子どもの受け入れも必要。
- 八代は、コミュニティ活動の中で日本伝統文化や環境学習等行っている。コミュニケーションも地域と一緒に取り組んでいる。お互い協力し合っている。地域の子どもは地域が育てる、です。
- 統合ありきの話をやめて欲しい。地域・保護者が望めば少人数の学校は存続されるのでしょうか？
- 複式学級の解消、統合の話より、地域のまちづくりを今一度考えていただきたい。
- 教育委員会にとどまらず、多くの部署に広げて「まち」を考えて行く契機とするべきではないか。
- 人口流出はあるが、都会の人の呼び込みにも力を入れて、活性化を図り地域の魅力を伝えて欲しい。
- 学校は地域のシンボル。学校がなくなれば地域コミュニティの崩壊の危機感がある。統合した旧校舎をどうしていくのか。少子化を強調するばかりでなく、子どもの数を増やす対策を地域行政がともに進めるべき。
- 市教委は「学校の再編を視野に入れた検討」と同時に、「再編をせずに子どもにとってより良い教育を保障する検討」を車の両輪のように進めるべきである。
- 地域の意見より父兄の意見を重視するべき。
- 案を基に保護者や地域住民も含めた地元主導の協議会等において、地域主体で今後検討していただければと思う。
- 保護者・PTA の意見だけでなく、もっと広く、児童生徒、若い卒業生、地域住民の意見も幅広く聞いて、しこりがあまり残らないような進め方を望みます。

- 多くの方の意見を聞き、急がずに進めてください。
- 子どもは父兄のものだけではないと思います。地域や国の宝だと思います。地域と保護者が対立したまま統廃合にならないよう祈ります。
- 少なければ少ないなりの育て方はある。人は物ではない。多様である。人数の大小で語るのは愚かでは。学校は教育関係、親、行政のものではない。地域があってこれら成り立っている。
- 子どもたちにとって統合は大事であるが、地域住民にとっては、校区に学校がなくなると大変である。少数でも学校は残すべきだと思います。